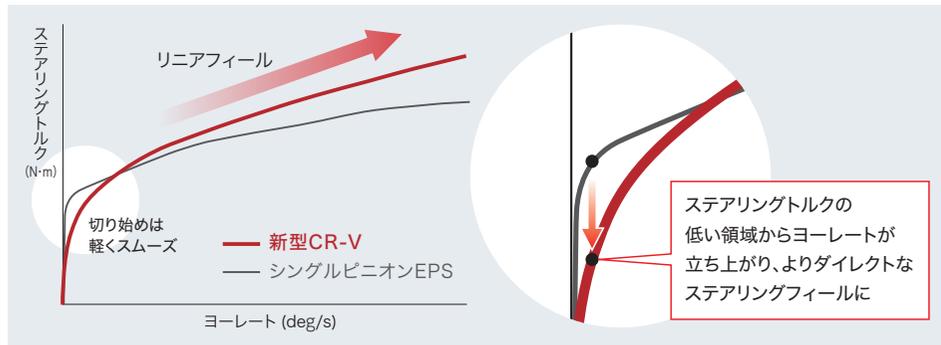


ドライバーの意思に応えるリニアで軽快なステアリングフィール One Motion

ダイレクトなステアリングフィールをめざしたデュアルピニオン可変ギアレシオEPS

ステアリングの回転を直線方向の動きに変換するピニオンを、入力側とアシスト側の2カ所に設置することで、俊敏なレスポンスとなめらかな操舵感を高い次元で両立するデュアルピニオン可変ギアレシオEPS。さらに、新型CR-Vでは、ステアリングギアボックスのマウントリジッド化やステアリングコラムシャフトの大径化により剛性を高め、よりダイレクトなステアリングフィールを獲得しています。

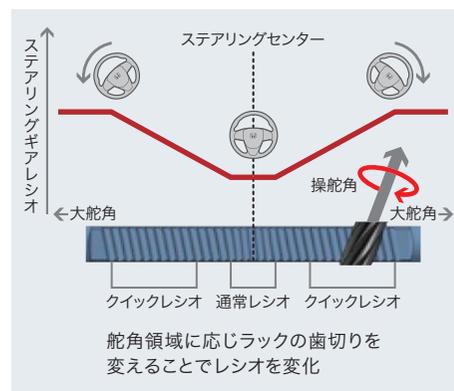
■ステアリング特性イメージ



クイックな操作性をもたらすVGR(可変ステアリングギアレシオ)

ステアリングの操作量に応じてタイヤの切れ角が変化するVGR(可変ステアリングギアレシオ)を採用しました。ステアリングの切り始めをスムーズに、大舵角時はクイックなレシオ設定としてロック・トゥー・ロックを3.1回転から2.3回転に減少。この結果、高速走行での車線変更などはより滑らかで安心感のあるステアリングフィールを獲得し、低速走行ではきびきびとした旋回性や車庫入れ時などの容易な取り回し性を実現しています。

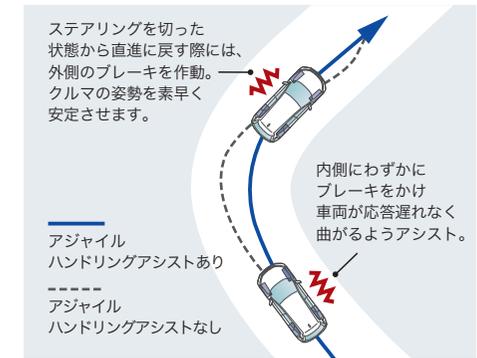
■ステアリングラックギア 構造説明図



常用域でのハンドリング性能を向上するアジャイルハンドリングアシスト

車両の横すべり時など限界領域で作動するVSAに加え、限界領域の手前で回頭性やラントレース性、緊急回避時のより確かな操縦性に貢献するアジャイルハンドリングアシストを採用しました。操舵角や転舵速度からドライバーが意図する走行ラインを推定し、四輪のブレーキを独立制御して車両挙動をコントロール。ワインディングでのスポーティーな走行やすべりやすい路面でのスムーズな運転を支援します。

■車両挙動イメージ



優れた制動力とリニアなブレーキフィール

大径ディスクブレーキ(フロント:ベンチレーテッド φ320mm*/リア:φ310mm)を採用。ドライな路面から雨や雪のシーンまで、優れた制動力を発揮します。さらに、ペダルストロークのショート化や電動ブレーキブースターの採用(ガソリン車のみ)などにより、応答性が良くリニアなブレーキフィールを獲得しています。

*ハイブリッド車。ガソリン車は、φ315mm



ベンチレーテッドディスク (フロント)



Honda車 国内初採用 電動ブレーキブースター (ガソリン車のみ)

手元で減速度が操れる、減速セクター*(ハイブリッド車)

ステアリングを握ったまま扱え、アクセルオフ時の減速度を4段階に変更可能。旋回や右左折の手前、降坂路、前走車との車間をあげたい時に効果を実感できます。また、ガソリン車にはパドルシフトを採用しています。

*減速セクターで選択した減速度は、一定条件のもとで自動で解除。SPORTモードでの走行中は固定となります。

